



# 竹村なおこの 県政レポート

長野県飯田市座光寺464-1 TEL:0265-48-8083 FAX:0265-48-8084 E-mail:takemura.nok@gmail.com



No. 3  
2024年  
(令和6年)  
新春号

## 病児病後児保育について

子育てしながら働く人は子どもも仕事も大切で、子どもが病気の時くらいは一緒に居たいと思うのは当然のこと。

しかし、仕事の都合や内容、職業によって休めない人もいます。急に休むと迷惑をかけてしまうとか、その度に休むと職場に居づらく感じることもある。

非正規労働で給料減になる人、急に頼める祖父母のいない人など、困った時に病児病後児保育は強い味方である。飯田下伊那では、健和会病院内「おひさまはるる」で飯田市の事業として病児病後児保育を行っており、2010

年から各町村からの利用も可能となっている。

「おひさまはるる」の定員は6名、3つの部屋を使い手厚く柔軟な保育体制で子どもを見てくれる。利用者は1年に800人以上だが、部屋や定員がいっぱいになると断らざるを得ず、その件数は1年間に100件を超えている。

地域別利用は、飯田市が一番多く全体の84%。残りの16%は下伊那町村だが、利用があるのは保育施設まで比較的近く30分程度で移動出来る地域で、40分以上かかる地域の利用はない。やはり、遠い

と使い難いと思う。ちなみに飯田下伊那と同程度面積の香川県には、施設が19ヶ所ある。

【竹村】女性に選ばれる長野県を目指す中で、子育ての応援体制は重要と考えるが、どのような認識か。令和6年までに病児病後児保育利用可能市町村を90.9%目標としているが、数値だけ達成すれば良いのか。

【子ども若者局長】環境整備が重要だと考え進めている。単独設置が困難な地域では、近隣との協定利用も進めてきた。制度開始平成28年度の52から令和4年度69市町村89.6%となり、施設数も32から52と増加した。

【竹村】施設が遠く利用しづらい地域に対して支援できないか。

【子ども若者局長】取り組む市町村に施設整備や運営に係る補助を行っている。令和4年度運営費に対して約9,000万円を交付した。安定的な利用が見込めない地域においては、登録会員の相互援助で支援するファミリーサポートを活用する所もある。引き続き支援や情報提供をし、地域の実情に応じた環境整備を支援したい。



【竹村】架線集材への支援はどのようか。

【林務部長】令和5年3月策定「長野県主伐・再造林推進ガイドライン」で地質が脆い場所や急傾斜地では、架線系作業システムを推奨している。研修会や集材機導入への支援対象にしている。再造林に利用の場合は、架設・撤去に係る経費への支援を検討している。

【竹村】林業経営に適さない森林での間伐にも十分な支援を。

【林務部長】山地災害防止や水源かん養等の重視すべき機能に応じた施策が実施されるよう、森林づくり県民税や国庫補助事業等を活用し、計画的な整備を支援する。

## 環境文教委員会での質疑

### 下水汚泥の肥料化

【竹村】汚泥に化学物質等が含まれてはいないか。

【環境部】肥料の品質確保等に関する法律に基づいて、重金属の含有量、化学物質の溶出量が法の基準以下であると確認した上で肥料登録を受ける。環境部と農政部が試験を行い、安心に繋げる。

### 発達障害について

【竹村】発達障害の実態調査の目的は。

【教育委員会】小中学校は平成15年から、高校は19年度から同じ項目で毎年調査を行っている。全体の傾向を知り、学校ごとに生徒の課題を明確に把握し、個別指導計画の策定に役立てる。また、将来にわたる公立の教育支援計画にも役立てたい。

### 子どもたちの視力について

【竹村】1人1台タブレット端末で勉強するようになり、他にも目を酷使するところが多い中で子どもたちの視力はどうか。

【教育委員会】令和3年度裸眼視力1.0未満数値

小学生 34.3%  
中学生 10年前より4.7%増  
61.0%  
高校生 10年前より8.3%増  
70.9%  
10年前より5.2%増  
良い姿勢で目をコンピュー



ター画面から30cm以上離す、30分に1回は20秒以上目を休める等の対策は取っている。

### スクールロイヤーについて

【竹村】長野県弁護士会と調整するとしていたが、どのようなか。

【教育委員会】学校→市町村教委→教育事務所→県教委→弁護士会という流れで話が行き、最適な弁護士が選任される。費用は市町村が負担をし、来年度からは運用できる見通しになっている。

「スクールロイヤー」とは…  
学校で発生するさまざまな問題について子どもの利益を念頭に置き、法律の見地から学校に助言する弁護士



### 年頭のごあいさつ

郡市民の皆様にはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年多くの皆様からいただいたご支持を胸に、本年も政務活動に誠心誠意取り組んでまいります。

ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(公職選挙法により年賀状は失礼いたします)

## 林業県に向けた 森林整備について

### 長野県森林づくり指針にある100年先の目指す森林の姿に、林業経営に適した森林以外の森林は、針葉樹と広葉樹の入り混じった針広混交林に変えていくとある。県内の民有林は、林業経営に適した森林は3割のみ、残り7割は林業経営に適した森林以外の森林とのこと。

飯田下伊那は傾斜30度以上の森林が多く、林業経営に適しているのは民有林の13%だが、それ以外にも先人が植えた木が立派に育っている。急峻な森林の作業には、架線集材という作業方法が有効だが、集材機の購入費用が高額なこと、架線の設置と撤収に多くの人材と技術





**11月定例県議会**  
**101億2118万円余の**  
**補正予算などを可決**  
**追加補正489億8324万円余の**  
**防災・減災対策予算も**

11月定例県議会は、11月30日から12月15日までの16日間の会期で開催され、物価高から県民・事業者を守る予算を中心とする101億2118万円余(債務負担行為97億6678万円)の補正予算案や条例改正案、人事案件等、知事提出の38議案。これに加え、国の補正予算に対応した防災・減災・県土強靱化のための補正予算案489億8324万円余(債務負担行為14億3079万円余)が追加提出され、いずれも審議の結果、原案のとおり可決・同意しました。

このほか、我が会派提出の「林業分野における外国人材の確保・育成を促す意見書(案)」を始めとする、議員提出8議案を全会一致で可決しました。

一般質問では、会派から8名の議員が演壇に立ち、様々な県政課題について質問しました。

**代表年頭ご挨拶**

代表 小林東一郎



新たな年を迎え、県民生活向上のため多様な意見を県政に反映させるべく、会派一同決意を新たに本年も取り組んでまいります。

物価は上昇しているのにそれに見合う賃金上昇が果たされておらず暮らしの先行きが不透明、少子化で人口減少が進み産業や地域をどのように支えていくのか心配、気候変動によりいつ災害に見舞われるか不安を感じるといった声に、正面から応えられる県政実現のため

私たちに会派は、「県政改革の理念を共有し、県民の皆様の意見を広く集め生活の向上に資する県政展開を図り、一人ひとりが輝く信州を創る」という理念のもと、「県政対話集会」など県民の皆様の声を広く聴く機会をつくり、県政のチェックや知事への政策提言に活かし、行動を続けてきました。

本年も、議員一人ひとりが皆様から負託された責任を果たすため全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



**令和6年度予算編成と当面の課題**

199項目 阿部知事に要望

「改革信州」は、11月定例会初日の11月30日に、「令和6年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を、小林代表から阿部知事に手渡しし、実現するよう申し入れました。

この提案書は、会派に寄せられた県民の皆さまや、市町村・各種団体のご意見やご要望を踏まえ、会派で議論、検討を重ね、「県政全般(基本的施策)」23項目、「各部署別施策」176項目の計199項目に取りまとめました。

各議員からは、重点項目を所属委員会ごとに要望しました。県政全般としては、予算編成にあたって県民の声や議会の提言を活かすこと、徹底した事務事業の見直し・業務の効率化、必要な人材確保を図ることを。企画振興部には、デジタル人

**補正予算のポイント**

- 物価高から県民・事業者を守る 37億8276万9千円
- 強靱で健全な経済構造への転換支援 26億1917万7千円
- 円安を活かした販路拡大、産業の生産性向上
- ゼロカーボンの加速化
- 地域内経済循環の確立
- 人口減少を乗り越え、活力ある社会を実現 2億4146万2千円
- 人材確保・物流2024年問題等への対応
- 県民生活の安全・安心の確保(債務負担行為)

**補正予算のポイント (国の補正予算対応分)**

- 「『ゆたかな社会』の実現を加速するための長野県総合経済対策」の拡充 総額489億8324万2千円
- 県民生活の安全・安心の確保 479億4328万5千円
- 強靱で健全な経済構造への転換支援 6億1346万7千円
- 産業の生産性向上
- 人口減少を乗り越え、活力ある社会を実現 2億6467万6千円
- 教育環境の整備、子ども・子育て支援
- 物価高から県民・事業者を守る 1億6181万4千円



度温室効果ガス排出量6割削減と2050ゼロカーボンの実現に向けた施策の推進を。教育委員会には、教員欠員補充対策とスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・学級支援員等の処遇改善を、提言しました。阿部知事からは、「しっかりと受け止め、それぞれの発言の後、それぞれについて答弁がありました。」

お近くの皆さまには、この機会に是非ご参加いただきたくお知らせいたします。お気軽にご参加ください。

日時・1月27日(土) 10時~12時(予定)  
 場所・東御市中央公民館

**2月定例会日程(予定)**

- ▽2月14日 開会
- ▽20日・21日 各党派代表質問
- ▽22日・29日 一般質問
- ▽3月4日・11日 委員会審議
- ▽14日 閉会

**県政対話集会in東御**

「改革信州」は、県政の現状と課題を県民の皆さまにご報告すると共に、ご意見・ご要望を直接お受けし県政に反映させるため、県政対話集会を開催しています。

会派所属の13名の議員が、皆さまと直接対話させていただきますので、各地で順次実施し、次回は東御市での開催を予定しています。